

【医療関係者向け】

よくあるご質問: ポラザG坐剤

天藤製薬株式会社
2018年11月作成

No.	質問	回答
1	妊娠中の使用は可能ですか。	妊娠中の使用に関する安全性は確認されていないため、治療上の有益性が危険性を上まわると処方医が判断される場合にのみ使用してください。
2	授乳中の使用は可能ですか。	授乳中の使用に関する特別な注意喚起は行っておりませんが、使用の可否については、処方医のご判断をお願いしております。 なお、使用成績調査及び自発報告において母体又は乳児での副作用報告は受けておりません。
3	小児の使用は可能ですか。	小児への使用については、処方医のご判断をお願いしております。
4	長期使用は可能ですか。 また、投薬日数制限はありますか。	現時点において長期使用による特別なリスク(蓄積性、中毒性、習慣性、耐性等)は報告されておらず、それが危惧される知見も無いため、特に使用期間は制限しておりません。 また、法規制上の投薬日数制限医薬品ではございません。 保険請求に関する個別事項につきましては、審査機関へのご照会をお願いしております。 なお、各患者での使用期間は処方医のご判断にて、予見可能な必要期間でのご処方をお願いしております。
5	副腎皮質ステロイドを成分として配合していますか。	配合しておりません。
6	トリベノシドとはどのような成分ですか。	合成された六炭糖Glucofuranose(グルコフラノース)の誘導体で、薬理作用として、抗浮腫作用、創傷治癒促進作用、循環障害改善作用を有しております。既存の抗炎症薬と抗浮腫作用を有する点で類似しておりますが、創傷治癒促進作用を有する点で異なっております。
7	外痔核・裂肛への使用は可能ですか。	ポラザG坐剤の効能・効果は、「内痔核に伴う症状の緩解」であることから、外痔核・裂肛は適応外となります。
8	坐剤は、挿入後どれ位の時間で溶けるのですか。	個人差はありますが、挿入後20～30分で溶けると考えております。
9	坐剤挿入後にすぐ排便した場合、もう一度使用した方が良いですか。	【坐剤が原形のまま排出された場合】 ・再度ご使用ください。 【坐剤が溶融した状態で排出された場合】 ・坐剤が溶けて患部に成分が行き届いていると考えられますので、再度ご使用頂く必要はございません。 なお、坐剤の挿入による刺激で、便意を催すことがございますので、排便後のご使用をお願いしております。
10	使用後、便に白いものが付着したり、便器に油状のものや白い塊が浮かんだりしているのが大丈夫ですか。	坐剤の油脂性基剤が便と共に排出されたものと考えられますので、特に問題ございません。
11	坐剤の保管温度を室温(1～30℃)としているのは何故ですか。	坐剤は体温で溶けるよう設計されており、保管温度が30℃を超えると軟らかくなり、体温以上になると溶けて液状となります。 その状態から冷え固まる段階でヒビ・割れや変形を起こす可能性があるためです。 なお、ヒビ・割れや変形を起こした製品はご使用頂かないようお願いしております。
12	トリベノシドを含む製剤(ポラザG軟膏、ヘモクロンカプセル200mg)との併用は可能ですか。	慎重投与に該当します。 単独投与時に比べ、トリベノシドの血中濃度が上昇し、副作用発現頻度の上昇のおそれがあるため、治療上必要な場合を除き、併用を行わないようご留意頂くようお願いしております。